

◆担い手育成事業

第15回沖縄県青壮年・女性漁業者交流大会等概要

水産業改良普及センター 系数正

平成22年1月15日（水）、沖縄県水産会館において約150名の参加者により第15回沖縄県青壮年・女性漁業者交流大会が開催された。

この大会は、本県における漁村青壮年・女性漁業者及び研究グループ等の自主的な活動実績を発表し、相互の知識の交流、活動意欲の向上及び成果の普及を図ることにより、今後の漁村社会の発展に寄与することを目的として毎年開催されている。

今年度の実績発表は伊平屋村漁協モズク生産部会長諸見裕二さんの「オキナワモズクの品質向上に取り組んで」と、北谷町漁協女性部座喜味優子・あさみさんの「私たちの新たな挑戦」の2点が発表された。

また、モズク養殖の実習の成果として、沖縄水産高等学校海洋技術科3年コーストマリンコースの仲与志勇也、下里絢沙貴さんから「モズク栽培漁業への挑戦09」と題して体験発表があった。

審査の結果、北谷漁協女性部の座喜味優子・あさみさんが最優秀賞（県知事賞）に選定された。

今大会は、第11管区海上保安本部から海難防止のためのライフベストの着用推進のための講演をお願いし、県知事賞、漁連会長賞ともに副賞をライフベストにするなど、主催者として海難防止を呼びかけている。

平成22年3月8日、東京国際フォーラムにて第15回全国青年・女性漁業者交流大会が開催され、全47組の漁業関係者による実績発表が行われ、地域活性化部門において、沖縄県代表の北谷町漁協女性部座喜味優子・あさみ両氏が水産庁長官賞を受賞した。



県漁連会長賞受賞

伊平屋村漁協諸見裕二さん



全国大会で水産庁長官賞受賞

北谷漁協女性部座喜味優子・あさみさん



体験発表の仲与志君（機器操作下里君）